

テーマ 未知の文芸の領域へ

課題やレポート等で未知の文芸の領域に初めて取り組む際にはどのような資料が有効なのでしょう。未知の文芸の領域を学ぶうえで読んでおくべき資料・ツールをあげました。みなさんの学びの参考にしてみてください。

本を探るとき、こんなキーワードで探してみよう

文芸、作品、作家、日本文学、外国文学 など

図書館にある資料の一例

参考図書 ☆テーマについて調べたり、基本的な事柄を把握したりするときに便利！貸出できませんので注意してください

書名	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『日本近代文学大事典』(全6巻) 日本近代文学館編, 講談社, 1977.11	8号館 3F (8号館和参考書)	910.33/N1/1-1~6	1巻 50+0001266 他	この事典を筆頭に『日本現代文学大事典』や『明治・大正・昭和作家研究大事典』や『現代女性文学辞典』など図書館3Fの日本文学関係の参考図書は必ず見る価値がある。

入門書 ☆未知の文芸の領域の基礎を学んでみよう

書名	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『「わからない」という方法』 橋本治, 集英社, 2001.4	8号館 2F (8号館企画書架)	B (2015 先生が薦める 100 冊)	98+0005001	「学ぶこと」の第一歩は「わからない」という自覚であるということから出発し、学習とは何かを平易な言葉で詳細に考察している。特に新入生に読んで欲しい。
『言語表現法講義』加藤典洋, 岩波書店, 1996.10	B1A 和閉図書	816.0/KN-G	10+0050394	文章を書くということを真正面から考察した入門書。著者が大学でおこなった文章表現の講義がもとになっているので、学生の文章を引用しながら解説する部分などもあり、実践的。
『歴史とは何か』E.H.カー, 岩波書店, 1962.3	8号館 4F (8号館和図書)	201.1/C1/1	10+0061032 他	歴史そのものだけでなく、歴史記述とは何かということまで包含する入門書。歴史と虚構の関係や、事実と記述行為との関係を考える入口として最適。
『文芸学辞典』西郷竹彦, 明治図書出版, 1989.3	8号館 2F (8号館企画書架)	901.0/S3/1	50+0007930	総論・形象論・視点論・人物論・構造論・表現論・主題論・思想論・象徴論・文体論・虚構論・典型論などから文芸とはなにかを平易に解説しているので読んでみよう。

専門的な図書 ☆未知の文芸の領域をより深く学ぶにはこちらを読もう！

	所在場所	ポイント
図書館4Fの910から980の書架を中心にみてみる	8号館 4F (8号館和図書)	今まで手に取ったことのない文芸関係の書物に直接触れてほしい。

学術雑誌 ☆専門的な研究や最新動向を知るなら、雑誌を見てみよう！巻号数がたくさんある場合は、読みたい論文・記事を特定してください。

書名	所在場所	請求記号	諸蔵巻・所蔵年	ポイント
『国文学解釈と鑑賞』至文堂	B1B 和開雑誌	059.1/K5	1-4, 5(1-12), 6-7, 8(1-8, 10-12), 9, 10(1-4, 10, 12), 11-16, 17(1, 4-12), 18-75, 76(1-10)<1936-2011>	さまざまな特集やアプローチの論考があり、レポート作成などの参考になる。
『国文学：解釈と教材の研究』學燈社	B1B 和開雑誌	059.1/K6	1-53, 54(1-10)<1956-2009>	

データベース・関連 Web ページ

☆専門的な情報を探すときに便利です。データベースで探した本や論文が図書館にあるか、あらためて OPAC（蔵書検索）や CiNii で調べましょう

●印のデータベース・Web ページは、図書館 HP にリンクがあります

データベース・Web ページ名	URL	ポイント
●国文学研究資料館 HP	http://www.nijl.ac.jp/index.html	まず先行研究を調べてみる際の入口的存在。
●CiNii	http://ci.nii.ac.jp/	

※上記 URL は 2020 年 9 月現在のものです。